

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシドリ」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和5年4月28日 発行
No. 133

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)

学校教育だよりは

習志野市ホームページ

から御覧いただけます

アフターコロナに向け
令和5年度スタート!

呼名を受けて、明るく声高らかに返事をする新入生。新しい学校生活に向け、希望に満ちあふれていました!



第一中学校 入学式



習志野文化ホール



有終の美から再出発



「習志野文化ホールありがとう ～また会いましょう～」

新年度が始まり、4月7日(金)の習志野高校入学式を皮切りに、市内幼稚園、こども園、小中学校で入学式・入園式が行われました。令和5年度はアフターコロナの視点でブラッシュアップした教育活動を進めます。また、習志野文化ホールは3月末に長期休館に入り、音の響きを重視したホールへと生まれ変わる予定です。一つの歴史に幕は下りましたが、習志野の教育はさらなる発展に向けて、新たなスタートを切ります。

本号では新任の校園長先生、教頭先生、新規採用教職員の皆様の決意表明、抱負をお届けします。(文責 教育総務課 佐藤)

《第133号》テーマ「新年度の抱負」

《目次》

入学式 習志野文化ホール休館	… 1
教育長 巻頭言	… 2
新任校園長 抱負	… 3
新任教頭 抱負	… 4
新任教頭 抱負 新規採用教員(小学校)抱負	… 5
新規採用教員(小・中学校)抱負	… 6
新規採用教員(中学校・高等学校)ならしの学校音楽祭	… 7
特色ある教育活動紹介～実花小学校～	… 8

「アフターコロナと学校・園改革のスタート」

習志野市教育委員会教育長 小熊 隆



令和5年3月31日をもって、本市の芸術文化の殿堂であり、「音楽のまち習志野」の象徴である、習志野文化ホールが建て替えのため長期の休館となりました。44年の長きに渡り、習志野の芸術文化を育てていただいたことに感謝の気持ちで一杯です。最終日を迎えるにあたっては、文化ホールの自主事業や学校音楽祭、そして、習高吹奏楽部による創部60周年記念演奏会など、大変な盛り上がりを見せました。物事は終わり(区切り)があるからこそ、より輝ける、ことを実感いたしました。(新しいホールにもご期待ください。)改めて、学校教育においても「終わり・区切り・ゴール」を意識し、「一人一人がきらりと光る習志野の教育」を進めてまいります。

さて、令和5年度がスタートして1か月が経過しようとしています。長く続いたウイズコロナも、5月8日からは感染症の扱いが5類となり、名実ともにアフターコロナがスタートします。この3年間で、「コロナ禍でもできる」ことを通して、教育活動を見直すきっかけにもなりました。その一つが「一人一人が輝く教育活動」であり、昨年度は習志野高校の文武両道の活躍や、小中学校の音楽コンクールでの活躍などにも成果として表れました。関係者の皆様、指導いただいた先生方には深く感謝を申し上げます。本年度は、コロナ禍でできなかったことや控えていたことにも焦点を当てつつ、本当に必要なこと、新たに取組まなければならないことを実践する必要があります。今まで以上に、教育行政と学校のリーダーの力量が問われます。そこで、令和5年度は「学校・園改革」を大きなテーマに据え、4つの視点で取り組んでまいります。

1 **新たな挑戦**…児童生徒が安心して学校・園生活を行うことが基本であり、特に、いじめの問題は根絶を図らなければなりません。第三者の視点で対応できるような体制の充実に取り組みます。また、中学校部活動の地域移行では、これまでの学校部活動のよさを生かしつつ、さらに生徒の可能性を伸ばすという視点で、3つの競技(陸上・バスケ・バレー)のモデル事業から試行し、全校実施につなげます。本年度から全ての学校で組織する、学校運営協議会と地域学校協働本部においては、地域の風がいきかう学校教育の展開、よりよい学校運営の支援に生かせるようにします。

2 **安全・安心**…児童生徒の心のケア、つまり悩みを受けとめることのできる学校体制の構築は、「心のアンケート」、教育相談の時間の確保、匿名メール相談WEBアプリの活用を通して充実に努めます。また、通学路安全対策協議会や不審者対応マニュアルや訓練の充実に、安全・安心な環境の整備に関係機関と連携して取り組みます。

3 **工夫・改善**…タブレットの活用については「いつでも使える文房具・教材」として、家庭に持ち帰っての活用をお願いしております。本年度は新たに電子書籍、AIドリルを導入し、さらなる活用を図ります。一方で、学力向上の基本は授業であり、ノートとタブレットの双方が効果的に活用されることが学力の定着には不可欠です。各学校の公開研究会や研究・研修についても、教師の指導力の向上、効果的な学習指導法の確立等の目的を明確にします。

4 **柔軟な連携**…「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成においては、保護者や関係機関との連携を深め、児童生徒一人一人のニーズを踏まえた指導・支援の充実に努めます。また、習志野市子どもの読書活動推進計画に基づき、学校図書館の効果的な活用と市立図書館との連携を図ります。さらにSDGsの視点を生かした生涯学習、学校教育の推進に努めます。

本年度も本市の教育活動に、御理解御協力をお願いいたします。





『千一ム学校』の司令塔!!

新任校園長先生の

決意・抱負

津田沼幼稚園

園長 森谷 美枝子

「元気いっぱい！
笑顔いっぱい！」



子ども一人ひとりの気持ちに温かく寄り添い笑顔があふれ、元気な声が響き渡る、子どもも職員も居心地の良い幼稚園となるよう努めてまいります。そして保護者の方との情報交換を大切に、安心・安全な幼稚園経営を目指していきます。

屋敷幼稚園

園長 中山 智子

「笑顔いっぱいの
幼稚園を目指して」



緑豊かな屋敷幼稚園に着任いたしました。屋敷幼稚園の園歌『えがおでおともだち』とあるように、園児だけでなく、保護者、職員、地域の方々の笑顔が溢れるような園になるよう努めてまいります。まずは、柔軟な思考をもち、できない理由よりできる方法を考え前向きに『子どものために一番良い方法』を考え取り組んでまいります。

鷺沼小学校

校長 渡邊 邦彦

「新しいステージに向かって」



本校は今年度創立150周年（独立70周年）を迎える伝統ある学校です。その伝統を守りつつ、積極的に新しいことにチャレンジし、アップデートさせていきたいと思えます。「楽しくなければ学校じゃない」をモットーに学校・保護者・地域の力を結集し学校づくりを行ってまいります。児童の未来のために笑顔あふれる学校を目指します。

大久保東小学校

校長 渡辺 雅和

「元気の源」



「児童、職員、保護者、地域みんなが笑顔になる」そんな学校づくりが私の夢です。そのためには、まず私自身が笑顔でいられること、そして元気でいることが大切だと感じています。「大久保東小でよかった」その一言が元気の源です。

袖ヶ浦東小学校

校長 瀬山 英樹

「“心の目”で見よう」



始業式で全校児童に「心の目で見よう」という話をしました。「心の目は全員もっているけど、使わないと錆びついてしまう。心の目で見ると、困っている友達に優しい声掛けができる。周りの人を笑顔にすることができる目なのだよ。」という内容。心の目が使える児童を増やし、笑顔いっぱいの温かい学校づくりに努めていきます。

向山小学校

校長 安村 和晃

「小さな学校の
大きな家族」



向山小学校は、小さな学校の特徴を生かし、1年生から6年生まで大家族のように、異学年交流活動を柱に豊かな心を育ててまいりました。これまでの伝統を土台として、学校職員と、家庭や地域が手を取り合って、児童の未来のために取り組んでまいります。

秋津小学校

校長 山下 欣宏

「のびのび育て！秋津っ子」



新入生36名を迎え、全校児童244名で今年の秋津小学校がスタートしました。本校は小さな学校ですが、地域とつながり、地域とともに歩んできた素晴らしい歴史を持っています。地域との連携という宝物を最大限に活かし、秋津小の児童が「笑顔でのびのび育つ」学校であり続けるよう、職員とともに全力を尽くします。

谷津南小学校

校長 合田 聖

「みんな なかよく
みらいにむかって」



学校、家庭、地域が連携し、明るく思いやりがあり、未来をたくましく生きぬく児童の育成を目指し、教育活動を展開してまいります。まずは教職員が元気であり、児童、学校の活力を高めることで、地域を盛り上げていきたいと考えております。全ての児童が安全かつ健やかに、そして一人ひとりがきらりと光る教育活動の推進に尽力いたします。



「チーム学校」を支える 大黒柱！ 新任教頭先生の決意・抱負

向山幼稚園

教頭 千田 由布子

日々、自然豊かな環境でのびのび育つ向山幼稚園の元気な子どもたちからパワーをもらっています。来年度からは、向山こども園として新たなスタートをきりますが、向山幼稚園としての最後の一年間、子どもたちや保護者、職員みんなの笑顔が溢れる園になるよう尽力していきたいと思ひます。



津田沼小学校

教頭 大類 紀章

私が教員として初めての一步を踏み出したのが津田沼小学校でした。教頭として再びこの学校に赴任できたことに、大きな喜びを感じています。常に「上機嫌」を心がけ、すべての人に信頼される教頭に成長できるよう研鑽に励みます。校長の指導の下、児童の可能性を広げる学校づくりに全力で邁進していく覚悟です。



谷津小学校

教頭 館石 典子

谷津小学校では、1300名を超える児童一人ひとりが輝くことができるよう、教職員77名が一丸となって日々の教育活動に取り組んでおります。児童も教職員も輝き、笑顔いっぱいの学校になるよう、保護者や地域の皆様と共に精一杯努めてまいります。



実籾小学校

教頭 白戸 雄一

伝統と自然いっぱいの実籾小学校に教頭として着任し、児童の元気な声を聞くことができる毎日を、大変嬉しく思っております。新任教頭として、多くのことを学び、児童、教職員、保護者、地域をつなぎ、笑顔あふれる学校づくりに力を尽くしていきます。御指導よろしくお願ひいたします。



袖ヶ浦西小学校

教頭 大津 真紀

児童、教職員、保護者の方々、地域の方々の温かな笑顔に迎えられる、夢と希望に満ち溢れた袖ヶ浦西小学校に着任することができました。教頭として、袖ヶ浦西小のスローガン「笑顔と活気あふれる学校」の実現に向け、常に笑顔を絶やさず、一人ひとりのよさを認め、よりよい学校づくりのためにチャレンジしていきます。よろしくお願ひ致します。



屋敷小学校

教頭 高橋 優樹

教員がチームとしてまとまり、学校教育目標に向かって一丸となれるような学校づくりに邁進していきます。お互いが声をかけ合い、一人で悩みを抱え込ませないようなきめ細かい配慮を心がけます。そして、児童についても同様に、「一人も見捨えない」を合言葉に、全ての児童が学校生活を楽しめる明るい環境を作っていきます。



香澄小学校

教頭 萩原 明宜

今年度、初任以来17年振りに香澄小学校に着任となり、大変嬉しく思っております。今まで務めた学校や行政での経験を最大限に生かし、学校と保護者、地域等と一体となって児童一人ひとりを育てていくとともに信頼される学校づくりに励んでまいります。



第三中学校

教頭 坂井 祐介

本校の職員室には、どんな困難にもひるまず、目的に向かって勇敢に突き進むという意味の「勇往(ゆうおう)邁進(まいしん)」という言葉が掲げられています。この言葉を胸に「小さな学校の大きな教育」を目指し、生徒はもちろん、保護者や地域の方々、教職員を含めた「チーム三中」に笑顔と感動が溢れる学校づくりのために、全力を尽くしてまいります。



第四中学校

教頭 小野 章

「四中魂の継承」

地域に深く根付いたこの第四中学校の一員となれたことを嬉しく思っております。PTA や後援会、各町会の方々に支えられていることを日々、深く感じます。第四中学校は今年で55周年（ゴーゴー四中！）を迎えます。教職員や生徒とともに四中魂を継承してまいります。



第五中学校

教頭 井合 威郎

「ONE TEAM」

春のやさしい陽気のもと、正門付近の桜が満開となる中、第五中学校に着任しました。教育現場が抱える諸課題に、学級、学年の枠を越えて、すべての教職員が同じ方向を向いて進んでいくために、五中が「ONE TEAM」となるよう目指していきます。そして、生徒、保護者、地域の方々、教職員のそれぞれが笑顔になれる学校を目指して尽力してまいります。



第六中学校

教頭 狛倉 克也

今年度より教頭として第六中学校に着任した狛倉克也です。生徒が笑顔で安心して学校に登校し、活力あふれる活動ができるよう尽力いたします。また、風通しの良い職場づくりや地域の方とのコミュニケーションを大事にし、学校と地域が一体となって連携し合い、学校を含めた地域全体が活力あふれる活動ができるよう全力で取り組んでいきます。



習志野高校

教頭 原 有希也

習志野市立習志野高等学校という伝統ある学校に着任できたことを非常に誇りに感じます。習志野高校は習志野市民の皆様はもちろんのこと、全国からの注目度も非常に高い学校です。「習志野の王冠たれ」「雑草の如く遅しく」という伝統を継承し、教職員一丸となり、生徒一人ひとりに寄り添った教育活動を実践していく所存です。



習志野高校

教頭 鈴木 浩之

伝統ある習志野高校に、教頭として着任いたしました。習志野高校の「雑草の如く遅しく習志野の王冠たれ」の言葉を胸に伝統を引き継ぐとともに、文武両道を目指し、より良く発展できるよう職員一丸となって取り組んでいきます。学校・地域・保護者が連携しより良い学校になるように精一杯努力して参ります。



習志野にやってきた
新たな風
新規採用教職員
の意気込み

津田沼小 教諭 山ノ内 颯人



「笑顔で楽しく」を大切に、子どもたちの成長を支えていきます。

津田沼小 教諭 相田 ひかる



自信をもって笑顔で子どもたちの前に立ち、信頼される教師を目指します。

大久保小 教諭 澤田 明秀



子どもたちのために、日々の研鑽を怠らず、常に向上心を持って職務に臨んでいきます。

大久保小 教諭 根本 彩那



児童一人ひとりと全力で向き合い、毎日安心して楽しく過ごすことができるように頑張ります。

谷津小 教諭 神崎 美代子



子どもたちの気持ちに寄り添い、「学校が楽しい」と思える学級作りを行います。

谷津小 教諭 阿部 景子



子どもと共に全力で活動し、たくさんの思い出を作っていきます。学び続ける姿勢を大切に、精一杯頑張ります。

谷津小 教諭 正木 千陽



児童・保護者・教職員から信頼される教師になれるよう、日々精進していきます。

鷺沼小 教諭 佐藤 達也



はじめをつけること、優しさをもつこと、達成を目指すことを伝えていき、子どもたちの幸せな人生の手助けをすることができる教師になります。

鷺沼小 教諭 渡部 結衣



共に学ぶ姿勢をもって、少しでも子どもたちの笑顔を増やしていけるよう頑張ります。

実籾小 養護教諭 唐仁原文香



お母さん養護教諭として、子どもたちの成長に寄り添い、時には同じ保護者にも寄り添って、力になりたいです。

大久保東小 主事 釜下 綾奈



環境整備などを通して、習志野の子どもたちが楽しく安全に毎日を過ごせるよう支援していきたいです。

東習志野小 教諭 金子 侑生



私は、日々学び続ける姿勢を大切に、児童の頑張りや良いところを認め、信頼される教師を目指します。

東習志野小 教諭 関 歩乃佳



子どもたちの挑戦しようとする姿勢を認め、いつでも手を差し伸べられる教師を目指します。

袖ヶ浦東小 教諭 佐々木 里美



子どもたちが、自分と自分の持つ力を信じて生き生きとした笑顔で過ごせるよう、精一杯応援していきます。

屋敷小 教諭 岩部 新大



子どもたちに寄り添い、周りの先輩方と協力して教育に取り組める教員になりたいと思います。

藤崎小 教諭 高木 美鈴



子どもの目線になって考えることを忘れず、互いに認め合い、高めていける学級を目指します。

藤崎小 教諭 稲村 愛梨



子どもたちが自分の良さを発揮できる学級を目指し、共に成長できるように努力します。

藤崎小 教諭 佐藤 風雅



子どもたちが楽しさ充実感を味わえる授業づくりや学級経営をし、一緒に大きく成長できるように頑張ります。

実花小 教諭 大越 瑞希



子どもたち一人ひとりに寄り添い、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、全力で歩んでいきます。

秋津小 教諭 矢吹 俊哉



全ては未来ある子どもたちのために、たくさん学んで実践し、子どもたちと共に成長していきます！！

香澄小 養護教諭 小林 千恵



子どもたちに元気と笑顔を与えられるように、養護教諭として一人ひとりを大切に作る保健室経営をしていきます。

谷津南小 教諭 石川 千絵



子供達が毎日笑顔で楽しく過ごせるよう頑張ります。また、教師として、人間としても成長できるように頑張ります。

谷津南小 教諭 田井 友菜



一人ひとりの可能性を様々な視点から引き出せるような教師を目指し、子どもたちと一緒に考えて、学び、成長できるように頑張りたいです。

谷津南小 主事 井村 麻衣子



子どもたちや先生方が過ごしやすい学習環境を整えるためのサポートができるよう一生懸命頑張ります。

第一中 教諭 日高 雅志



初心を忘れることなく「生徒の夢や挑戦を応援できる教員」を目指し、日々精進して参ります。

第一中 教諭 中山 太一



学校の授業を通して、生徒とともに、数学の奥深さを探求していきたいです。

第二中 教諭 高橋 彩美



初心と謙虚さを忘れずひたむきに前向きに頑張っていきたいと思えます。

第二中 教諭 上田 瑞子



一人でも多くの生徒に理科の面白さを伝えられるよう、一生懸命に取り組んでいきたいと考えています。

第二中 教諭 椎名 孝太



教師として、多くの生徒に学校で学ぶことの楽しさを味わってもらおうことが今の夢です。頑張ります。

第二中 教諭 布施 祥伍



生徒一人ひとりが夢や希望に向かって進んでいけるように、全力でサポートしていきます。

第三中 教諭 五味 香穂



生徒一人ひとりに寄り添うとともに、様々なことを吸収し、自分自身も成長できるように頑張ります。

第四中 教諭 井上 翼



私が教師になるきっかけを与えてくれた高校時代の恩師のように、生徒の人生の中に何らかのきっかけを与えられるような教員になりたいです。

第四中 教諭 田中 柊輔



中学生の頃から先生になることが夢でした。公務員としての自覚を持ち、生徒と一緒に学び、成長していけるように頑張ります。

第五中 教諭 小島 淳



生徒一人ひとりに寄り添った指導をする。生徒の気持ちを大切にしながら、生徒とともに成長していきたいです。

第五中 教諭 高崎 栞



教師として、生徒が英語をもっと思えば学びたいと授業なりに励んでいます。

第五中 教諭 大久保 陸



生徒が抱えている思いや悩みを受け止め、寄り添うことができる教師を目指し、一生懸命頑張ります。

第六中 教諭 三幣 利幸



生徒とともに成長し、感動や喜び、悲しみを共感できる先生になれるように頑張ります。

第七中 教諭 丹後 浩晃



生徒が、音楽を楽しむ、表現することが好きになるような学習指導を実践します。

第七中 教諭 波多野 晃史



一人ひとりの個性と感性を大切に、お互いを認め合える関係を築く力を育てていきます。

習志野高校 教諭 武田 薫平



習志野高校卒業生として母校に恩返りできるように、「雑草の如く逞しく」精一杯頑張ります！

習志野高校 教諭 石井 麻由



出会いと笑顔を大切に、生徒の将来を全力でサポートします。よろしくお願いします。

令和5年度の新規採用は、小学校が24名、中学校が15名、高等学校が2名となりました。新規採用された皆様の御活躍、期待しております。

“音楽のまち習志野”から夢と希望を！

ならしの学校音楽祭 ~ありがとう習志野文化ホール~

現在の習志野文化ホールで開催される最後の「ならしの学校音楽祭」。プロ演奏家の奏でるパイプオルガンの壮麗な響きで開幕し、中学生による厳かな響きの合唱、小・中学校フェスティバルバンドの生き生きとした合奏、各種コンクールで優秀な成績を残した市内小中高等学校の演奏と、感動を呼ぶ名演がステージを彩りました。合唱と管弦楽がホールいっぱい壮大な響きを奏でたグランドフィナーレで閉幕。今年度は令和6年3月市川市文化会館にて開催予定です。(文責:総合教育センター 稗田)



習志野市立実花小学校

児童数：650人 学級数：23 教職員数：42人
 《学校教育目標》
 心豊かに明るくたくましく生きぬく実花小の子ども



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 17

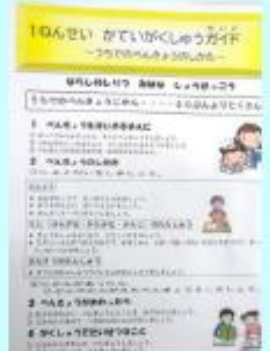
進んで学ぶ子

～子どもの声が聞こえる授業・教師も子どもも笑顔で授業～

『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指して授業改善に努めています。自分の考えをもつことを大切に、タブレット端末の有効的な活用や学習の足跡が残るようなノートの書き方などに取り組んでいます。



基本的な学びの力がつくように家庭学習を自分で進める力が付くようにしています。『家庭学習ガイド(子供用・保護者用)』を4月に配布し、学年に応じた家庭学習ができるように取り組んでいます。



心豊かな子

～人を大切にする教育・人にやさしい学校づくり～

全クラスで、人権について考える授業を意図的に行っています。また、1年生から6年生までの縦割りのグループを作り、年間を通して交流をしています。



5, 6年生の委員会活動を通して、より良い学校づくりを目指しています。児童会が進んで「あいさつ」をすることを呼びかけたり、飼育委員会が3月に生まれた5羽のウサギの赤ちゃんを大切に育てたりしています。5羽分の名前を全校から募集してつけることを楽しみにしています。



たくましい子

～実花小の強みを生かした体力向上～

習志野市の小学校の中で、一番広い校庭があります。また、緑も豊かで季節によっては、桜や銀杏などが、ピンクや黄色に校庭を美しく彩ります。そんな美しい校庭で「いきいき実花っ子マラソン」を頑張っています。校庭の外周(一周約400m)を走ります。昨年度は、1年間で1000周以上走った児童もいました。

今年度から、金曜日の業間のパワーアップタイムでいろいろな運動に取り組んだり、全校児童で短距離走をしたりして体力向上に努めています。



4～6年生の61人が、吹奏楽部に入っています。

「ひとりじゃないよ」の合言葉を大切に、練習に励んでいます。昨年度のTBS子ども音楽コンクールで、全国2位に輝きました。



実花小のキャラクター

私は、『はなみん』実花小のことをずっと見守っています。実花小のお友達は、【実花小の3つの約束】を守りながら毎日頑張っているよ！！

- ①気持ちのよいあいさつをしよう！
- ②時刻を守って行動しよう！
- ③進んできれいにしよう！